



ラジオ公開番組で「八幡浜ちゃんぼん物語」を熱唱するサスケ&KIMIYO（新町ドーム）

12月定例会等の概要

平成23年12月定例会は、12月6日に開会し、16日間の会期で12月21日に閉会しました。

この定例会において、市長提出の予算案14件、条例案7件、その他10件、計31件、議会から請願1件、計32件が上程されました。

その内、請願1件は不採択、その他の案件については、原案のとおり可決されました。

また、9月定例会で継続審査となっていました22年度一般会計歳入歳出決算等の認定については、認定されました。

（臨時会）

11月24日の臨時会において、報告3件、条例案3件、その他3件、計9件が上程され、原案のとおり可決、承認等されました。

〔12月定例会日程〕

会議日	会議別	会議内容
6日(火)	本会議	議案の上程 提案理由の説明
12日(月)	本会議	一般質問（6名）
15日(木)	本会議	議案に対する質疑
16日(金)	委員会	総務委員会 民生文教委員会 産業建設委員会
21日(水)	本会議	委員長報告 討論、採決会

※次回定例会は3月に開催の予定です。

一般質問

今定例会では、6人の議員が一般質問に立ち、市長はじめ関係理事者の考え方をたずねました。
その主な質問、答弁の要旨を掲載いたします。

ロボット競技世界一

問 11月19日、20日の両日、アラブ首長国連邦で行われたロボット競技の世界大会で八幡浜工業高校チームが優勝した。世界大会での金メダルは浜っ子に希望あふれる明るいニュースとなった。

そこで、世界大会金メダルに対しての市としての対応について、市民栄誉賞の考えはあるのか伺いたい。

答 議員言われるとおり、11月19日、20日両日にアラブ首長国連邦アブダビで行われたロボット競技の国際大会、「WRO（ワールド・ロボット・オリムピアード）2011」の高校生部門で八幡浜工業高校生徒が参加30カ国・地域58チームの頂点に立ち、世界一の栄冠をかち取りました。この快挙は参加した高校生諸君の日ごろから熱心な研究の成果であるとともに、

学校挙げての努力の積み重ねのたまものであり、学校創立50周年に大きな花を添えるものとなりました。また、八幡浜市民にとっても新鮮な驚きと感動であり、まさに市民の誇りというべきことでありました。

議員指摘の市民栄誉賞については、今回の八幡浜工業高校の世界大会での優勝はまさにこのような表彰にふさわしいものである。

現在、全国大会などで優勝するなど広く市民に希望、感動などを与えた個人、団体を表彰するために、名称などを含め表彰制度の見直し改善作業を進めており、制度が整い次第、速やかに表彰させていただきたいと考えている。

防災

問 東日本大震災を受けて防災、例えば避難所の変更等大きく見直しをしていると思

うが、その改善点について伺いたい。

答 1点目は、防災情報などのメール一斉配信サービスである。これは6月1日から津波警報を含む災害情報を市民に早期にお知らせし、迅速に避難するためのシステムを整備した。

今後、多くの市民の方に登録していただくようPRに努めていきたいと思っている。

2点目は、一時避難場所の見直し及び避難経路の整備を行った。一時避難場所については、より高い場所を、各地区と市が確認をし、104カ所を指定し、市民が安全に避難できる津波避難経路及び避難所については、危険箇所を確認し、緊急性の高いところから順次整備することとしている。

3点目は、海拔表示板の設置である。市内の海拔10m以下を中心にして150カ所と一時避難場所の104カ所に海拔表示板を設置し、市民の津波対策の意識



海拔表示板

向上を図りたいと思っている。

4点目は、防災訓練の実施である。9月4日に東南海・南海地震を想定した市内一斉の地震津波避難訓練を行い、これまで最多の7896人に参加をいただいた。

5点目は、津波避難ビルの追加である。これまで8施設と協定を結んでいたが、今年度中に5施設を追加し、合計13施設とし、緊急時の市街地津波対策を整えた。

国際交流

問 合併前、旧保内町ではドイツのシーポルト協会と年に1度交流訪問をしてお互いの友好を深めてきた。合併後、2年くらいは実施されたように思うが、今後再開されるのか伺いたい。

合わせて、先般、八幡浜工業高校の生徒の皆さんが世界一の大偉業を達成されて世界にその名を残されたということは、八幡浜市民の一人としてこれほど喜ばしいことはない。これからの若い人たちがどんどん世界へ羽ばたく時代が目の前に来ているように思う。

そのためには語学の勉強が必要になってくる。昔から百聞は一見にしかずという。できれば、一案として中学生を中心にシーポルト協会との交流を再開してはどうか。

答 議員指摘の海外派遣事業については、平成3年度に旧保内町の事業として始まり、八幡浜市国際交流協会の事業として引き継がれ、合併後応募者不足で実施できなかった平成19年度を除き、平成21年度まで4回にわたり実施をされている。

市が国際交流協会へ補助を行い、協会が主体となって派遣事業を実施していたが、市の財政事情も厳しい折、個人による海外旅行も身近になった現状を踏まえ、平成21年度を最後に補助を見送っているところである。

現在、協会単独での海外派遣事業の継続的な実施は困難となっているが、特に中高生にとっては海外を訪れ、国際感覚を磨くことは大変貴重な経験であるので、従来の実施形態にとられず、今の時代に即した国際交流事業のあり方を協会とともに今後検討していきたいと考えている。

公用車の使用規定

問 市の公用車には、大型バス、マイクロバス、職員

一般質問通告調書

質問者	質問事項
遠藤素子	1 福祉の充実した安心・安全なまちづくりについて 2 漁業の振興策について 3 原発から撤退し、自然エネルギーへの転換で八幡浜市の活性化を 4 公用車の使用規定について 5 市民会館およびゆめみかんでのイベント時に送迎バスの運行を
大山政司	1 市立病院の現地建替えプランについて 2 愛媛国体ソフトボール等の受け入れについて 3 公の施設の委託、指定管理について
石崎久次	1 防災について 2 八幡浜市中長期計画から見る展望について
宮本明裕	1 ずさんな北浜公園への市立病院移転計画等について 2 8千万円トイレとアゴラ建設計画等の振興ビジョン問題について 3 親族建設業者の落札と親族の公職就任について
清水正治	1 国際交流について 2 公有水面埋め立てについて 3 公共施設の使用状況について
岩田功次	1 八幡浜工業高等学校の快挙に対して市民榮譽賞を! 2 観光大使の任命について 3 大城市長・市政について

答 現在八幡浜市ではマイク
ロバス等を含め187台
の公用車を所有、管理している。
公用車の使用については、八
幡浜市庁用自動車等管理規定に
基づき、行政上必要な業務につ
いてのみ使用を認めており、そ
れぞれ公用車所管課において適
正に運行管理を行っている。
なお、マイクロボスの貸し出
しについては、各種団体より市
主催の各種行事及び研修会への
参加の際、貸出要望を受け、関

係所属長が行政上必要と認めた
ものについてのみ申請を受け付
け、使用許可をしている。

イベント時の送迎バス

問 市民会館及びゆめみか
んでのイベント時に送迎バ
スを運行してほしいとの要望が
ある。市民の文化活動への要求
は高まっていると思う。
ところが、車社会になって市
内バスなどの便数が減り、時間
的にも限られることから、いろ
いろな行事に参加したくてもで
きない方が増えている。

そこで、市民会館やゆめみか
んなどでイベントがあるとき、
市内の要所を回るバスがあれば
より多くの市民が行事に参加で
きるのではないかと思うが、送
迎バスを工夫してみてもどう
か。

答 文化は、人々に楽しさや
感動、精神的な安らぎや
生きる喜びをもたらし、創造性
をはぐくむものである。市民会
館、ゆめみかんで地域文化の
情報発信基地として、コンサ
ート、芸能、演劇など文化と触れ
合う場となっている。子供から
高齢者の方まで広く多くの市民
の皆様にご利用していただきたい
と考えている。

漁業の振興

問 いよいよ市場関連
の建設が始まるう

そうした中で、イベン
ト時における送迎バスの
運行は一つのよい手段と
思うが、現在ほとんど
の方が自動車で来館され
ることが多いのが現状で
ある。送迎バス運行の必
要性を聞きながら、費用
対効果の面も考えての今
後の検討課題とさせてい
ただきたい。

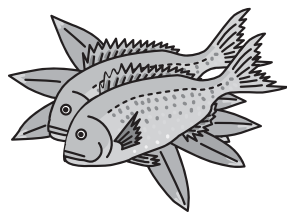
としている。しかし、漁業関係
者の話を伺うと、現在2000
人の組合員のうち実際に漁業に
携わっているのは800人くら
い、5年間で三、四十人が離職
し、20代の新就労者は年間わず
か2人だということで、後継者
不足が心配の種だと話された。
理事者の所見を伺いたい。

れる。もちろん家庭で骨のつい
た魚を食べることが望ましい
が、食育の場である学校給食で
魚をとる回数をふやし、地元
の魚を利用してほしいが、いか
か。
また、加工施設の整備につ
いても伺いたい。

問 最近、魚より肉を好む
若い人たちがふえ、魚離
れが進んでいるようである。そ
れは子育てにも影響し、魚の
おいしさを知らない子供たちが
ふえることにつながる。子供の
ときに人間の舌は決まるとも言

答 市では、9月補正予算で
当市の地魚を原料にした
学校給食導入定着事業を実施し
ている。
現在学校給食向けの試作品を
検討中で、来年1月から3月に
かけて10回、市内の学校給食と
して使う予定にしている。
今後は、児童や生徒の反応を
見ながら学校給食への本格的な
地魚利用を図っていきたくて考
えている。

また、漁業者の高齢化に対
するため、来年度からは大島でア
ワビなどの磯根資源の増養殖に
よる新たなビジネスモデルを計
画しており、高齢化した漁業者に
安定した収入を確保する方策に
についても幅広く検討していく。
これらを推進することが結果
として後継者づくりにつながる
ものと考えている。



いた上で消費者ニーズに合ったものにしたと考えている。

子育て支援

問 病児及び病後保育の実施について、外で働く母親にとつて子供が病気のときほど苦しいときはない。付き添いたい気持ちと気になる職場との間で葛藤する。そんなとき、病児・病後保育の制度があればどんなに助かるか。

答 以前から課題となっていたが、ぜひ実現してほしいと思うが、いかがか。

答 議員提案の病児保育については、松山市など県内で8市町10カ所で行われているが、ほとんどが小児科などの病院で実施されているものである。

元来、保育所は健康な子供を預かる施設であり、病児保育の実施には実施する場所や看護師、提携する小児科医師の確保が必要となるため、小児科病院での実施がよいのではないかと考えている。



現在、開催している八幡浜市立保育所のあり方検討委員会では、多様化する保育ニーズに対応できるサービスをより充実していけるように保育所の統廃合などの協議を進めているので、保育所において保護者が迎えに来るまでの間、看護師などが医務室で緊急に対応するといった体調不良型の病児保育事業の実施を含め、病児保育の実施の可否について、今後検討していきたい。

雇用促進

問 地域経済が疲弊している中、当市は若者の働く場が少なく、人口減に歯どめがかからない今日、地域の雇用促進を図るため、各事業者に対して、委託業務の社員は市内居住者を優先して雇用するための要請や指導について伺いたい。

答 公の施設の委託、指定管理について、特別な事情がない限り地域経済の活性化と雇用創出のために「市内に事務所または事業所を有する」ことを応募資格としている。また、雇用されている職員の割合については、指定管理者導入施設の職員138名のうち約83%の14名が市内居住者であり、そ

他の施設についてもほぼ同様の傾向にある。

これらの施設の中で、特に福祉施設や体育施設においては市民サービスの向上とともに安心・安全な管理運営を行うために必要な資格や勤務経験を踏まえた職員を配置することが重要だと考えている。まずはこのような資格、経験を重視するとともに、その場合でも可能な限り市内居住者を優先するよう依頼しているが、前提となる制約があることから、市外居住者に頼らざるを得ない場合もある。

生活保護

問 生活保護費の国と市の負担割合は、国が4分の3、市が4分の1であるが、年々生活保護受給者が増加の一途をたどれば自主財源に乏しい当市においては大変厳しい状況になる。近年の増加の推移と対策について伺いたい。

答 景気の低迷、失業者の増加により生活保護受給者数は全国で205万人を突破し、現在も過去最高の記録を更新している。当市も例外ではなく、本年11月1日現在、被保護世帯400世帯、被保護人員560人となっており、平成20年

度と比較してこの3年間に約80世帯、130人増加している。

このため、今年度から就労支援員を1人配置し、ハローワークと連携しながら被保護者の自立に向けた就労支援に取り組んでいるところである。しかしながら、求人状況が非常に厳しいこと、被保護世帯の45%が高齢者世帯となっていることなどから、自立が困難な世帯が多い状況である。

ただ、生活保護の相談者の中には、他法、他施策の活用や扶養依頼の徹底などで申請や決定に至らないケースが多いのも事実で、今後も要保護者の資産、能力の活用に配慮し、関係法令制度の適用に留意しながら生活保護の厳正、的確な運用に努めていきたいと考えている。

平成29年愛媛国体の受入れ

問 ソフトボールに関して、10月17日・18日に中央競技団体の視察員が試合会場の視察に訪れ、競技会場の現状や改修計画等を確認された模様であるが、どのような確認がされたのか伺いたい。

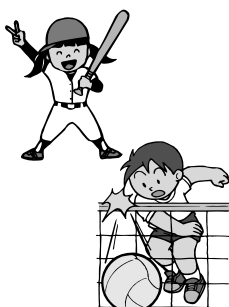
答 ソフトボールに関しての中央競技団体の確認事項について、市民スポーツパーク

については、これといった指摘事項はなかった。広いグラウンドを活用して中央に仮設の会場をつくれれば十分に使用できるということであった。

王子の森公園広場については、規定の広さ、距離が不足しており、正規の広さを確保すること、照明の高さが低い、照明不足の解消、また球場外にボールが飛び出さないような対策をとること、グラウンドの水はけをよくすること、休憩所等の仮設施設、駐車場の関係などの指摘を受けている。

問 バレーボール競技については、北浜のスポーツセンターで行われると思われるが、公式競技による施設の新たな改修・整備の有無について伺いたい。

答 バレーボール競技は市民スポーツセンターで行われ、バレーコート2面での試合を予定している。今のコートではフリーゾーンが狭く基準を満たさないため、フリーゾーンの確保のため、新規にボールの穴



をあげる改修が必要である。
また、現在使用には不都合はないが、床の一部にきしみが出ている場所、一部破損している場所もあり、6年後の国体までには床の改修も必要になると思っている。

観光大使

問 やわたしはま観光大使を提案する。

やわたしはま観光大使とは八幡浜出身者で郷土愛たっぷりの方が対象になる。観光大使には八幡浜のイメージデザインの名刺を持っていただき、いろんな場所での宣伝をしていただく。市長や副市長がちゃんぽん名刺を持ってトップセールスするように、観光大使にも当市の観光をPRしてもらう口コミ作戦である。経費は名刺代だけで済む。費用対効果がよく、安上がりの作戦であるが、人と人のつながりは確実な方法になる。

平成25年港観光施設のオープンに向けて、全国で活躍されている方を中心に八幡浜の観光大使になっていただく、宣伝をしてもらう仕組みを提案するが、所見を伺いたい。

答 議員提案の観光大使については、観光PRだけで

はなく地域振興の観点からも活用している自治体があり、その効果もあると認識している。
また、ロックバンド陰陽座を初めとする八幡浜出身の著名人の方や一般市民の方、市外で活躍されている当市にゆかりのある方々、多くの方々に御協力いただき、私たちのふるさと八幡浜市を広くPRできるよう検討していきたい。

市立病院の建替え

問 今回、大平現在地での建替え案の基本的な考え方として、津波等災害時の安全を重視するため、玄関は道路レベルより2m程度高い位置に計画しますと聞いている。

しかし、北浜公園から大平現



市立病院

在地までの距離は1km以内の位置だと思いが、東日本大震災による想定外の巨大地震を思えば、あまり変わらないのではないかという市民の声を耳にするが、所見を伺いたい。

答 地震に対しては、北浜のときと同様に施設内外の崩壊を防止するために免震構造にしたいと考えている。

津波に対しては、現在地の敷地の中ほどが海拔約5mである。もし1階部分が浸水したとしても、その後の診療機能が大きく損なわれないような機能配置にしたいと考えている。

そうすることで約10mまでの浸水に対応することが可能である。

八幡浜港振興ビジョン

問 総工費約130億円を投入し、八幡浜市の再生と水産業の振興を目的とした交流拠点整備事業が進捗をしているが、6000坪の交流拠点整備事業で250坪だけの商業施設アゴラ、従業員26名、オープン3年後の売上目標5億円、この程度で八幡浜市の再生と活性化が図られるのか。

専門的なコンサルタントを入れて、再考すべきではないか。

答 現在の計画は長年にわたる議会での議論を初め、たくさんの方の御意見を踏まえ、各種団体の御意見を踏まえ、またコンペの審査に当たっては専門家にも御出席をいただき最終的に立案したものであり、港エリアにぎわいづくりや経済効果の創出、市民が活躍できる舞台づくりなど、必ずや市の活性化につながるものと考えている。

したがって、平成25年4月のオープンに向け、いよいよ実施段階を迎えようとしている現時点において、指摘のような見直しをするつもりはない。

問 施設規模が小さく、またそれに対してトイレの面積が大きいのではないかと。さらに工事費が高いのではないかと。

答 まず、施設規模については、議員は、民営施設の面積のみを近隣施設と比較をされているようであるが、海産物直売所、観光案内まちづくり活動拠点施設などを含めた施設全体の面積は約2700㎡、約820坪となる。したがって、近隣の類似施設と比べて規模が小さいというのは当てはまらないのではないかと。なお、エリア全体の面積約6000坪には約2200坪の緑地公園が含まれており、緑地を除いたエリアに十分な駐車場を配置する必要

もある。その点を勘案しても、施設規模はおおむね適当であると考えている。

次に、トイレ面積の180㎡については、あくまでも当面予想した最大の面積であるということ、また8000万円という金額については9月議会の一般質問で答弁したように、最大面積に従来の例を踏まえて概算の建築単価を乗じた金額に概算の設計費、施工監理費を加え目安として示したもので、予算計上したわけではない。

これまでも説明しているようにトイレは誘客上非常に効果があり、これを重視して整備を進めることは適切な判断であると思っている。

トイレ棟のデザイン設計競技には、全国各地から481件の応募登録があり、注目度も高く、最終的にどのようなものになるか楽しみにしているところである。審査においては、ライフサイクルコスト、すなわち整備に要する経費、維持管理経費などトータルでの経費抑制を考慮しながら、洗練、親和性といったプラス要素を持つトイレをつくりたいというのが本意であり、その中で建物の規模、費用も適正なものにおさまってくると考えている。

委員会のしごき

今定例会に提出され、3常任委員会に付託された案件30件の審査が行われました。その主な内容は次のとおりです。

総務委員会

八幡浜市暴力団排除条例の制定について

問 この条例の第1条で、暴力団が市民の生活及び社会経済活動に介入し、暴力及びこれを背景とした資金獲得活動によって市民等に多大な脅威を与えている状況にかんがみとなっているが、現在、当市で、実際にそういう状況が起きているのか。

答 八幡浜警察署管内の暴力団等の状況ということで、警察の方から情報をいただいている。

その検挙等の内容については、平成22年中に検挙が7件、



刑法犯で恐喝、詐欺のものが5件、そして刑法犯以外が2件あった。今年もこれまで、検挙3件、刑法犯、恐喝、偽造が各1件、刑法犯以外1件あり、暴力団等の資金源になりうるような犯罪が起きている状況がある。

問 今、当市に暴力団の組織、事務所は、あるのか。

答 警察では暴力団というのは、公表はしてないということですが、お話しはいただけなかった。

ただ、当市においても、暴力団等ということで、その等の中には事務所が存在するというふうな聞き及んでいる。

問 この条例の中では、関係機関と、特に警察とは緊密に連携して対策に取り組むというような項目があるが、もう少し警察の方も情報を出して、

総務課の方もしっかりとした情報を把握しておかなければ、この条例が有効に働かないのではないか。

答 この条例については、暴力団等を排除することが

一番であるが、その施策としては、公共工事や各業種の許認可からの暴力団の排除、そして暴力団による不当な行為があれば、その対処に関する助言、指導、また市民に対する普及、広報啓発等、そういうものを全部含めた上で、警察と緊密に連携するということである。

（一般会計）八幡浜高校第23回全国駅伝競走大会出場補助金について

問 八幡浜高校女子陸上部が、第23回の全国駅伝競走大会に出場すること、これは、本当に素晴らしいことだと思っている。

答 今回、その補助金として、50万円を予算計上しているが、この額について、どのような基準で決定をしたのか。

答 補助金額の基準については、現在のところ明確な基準は設けていない。

陸上部に関しては、今年で5年連続の出場となるが、最初の年と2年目は150万円、3年目100万円、4年目は50万円を補助している。



その額については、補助金申請の際、決算状況の分かる資料を添付していただいております。それを基に決定している。

民生文教委員会

市立八幡浜総合病院事業会計補正予算について

問 市立病院の建替えに反対の方はいないだろうし、建て替えを急がなくてはいけないという思いも一緒だと考える。議会側と理事者側は、もっと細かく、情報を共有しながら、議会閉会中でも協議の場を作ることと、お互いに誤解を持つことなく信頼関係を保つたまま、もっとスムーズに話が進んでいくのではないかと。

答 議会とコミュニケーションする場合は、本会議、市議会協議会、常任委員会及び特別委員会があるが、それ以外でも話し合いを持ちたいと思っておられるのであれば、こちらからも是非お願いしたい。

八幡浜市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

問 今回の医師、看護師及び医療技術者等の待遇改善を行う条例改正によって、いく

ら経費がかかるのか。

答 地域手当は、15%を上限としており、仮に15%を支給すると、年額で2185万円である。また、管理職手当は、院長を40%、副院長を25%とすると、年額で203万円程度となる。なお、高度の資格を有する職員に対しては、年額で300万程度の見込みである。

白浜小学校西校舎地震補強建築主体工事請負契約の締結について」の議決変更について

問 今回の変更の主な内容としては、外壁劣化調査により、外壁びび割れ補強及び外壁浮き補強したための増額などによるものであるとのことであるが、実施設計費用として、設計士にいくら支払ったのか。

答 西校舎の地震補強として、462万円支払っている。

問 実施設計費用には、目視などをしながら補強の場所を示すことも費用に含まれて



白浜小学校

いと考えるが、ひびなどは目視で分からないというのはおかしいのではないかと。実施設計する段階では、目視で分かる部分については当初より入れている。実際には、ひびだけではなく足場をかけた調査をしてみないと分からない部分がある。

産業建設委員会

▼(一般会計)水産残滓積替保管場所整備工事費に関連して

問 加工利用機能向上施設の撤去に伴い、新たに市所有の須田の埋立地に残滓の一時保管場所を確保することであるがこれに対する蒲鉾組合の利用料とか、そういったものはあるのか。

答 市の所有地を使うわけであるから、当然、そこに係る借地料は発生する。

なお、今回設置するコンテナは、現在使用しているものを移動し使用する。

問 この施設の機械は平成17年に故障しており、現在、当該施設は残滓の一時保管場所として使用しているとのことであったが、今回の返還金の計算では、平成17年までさかのぼって計算するのか。

答 平成17年から現在まで、機械は稼働していなかったが、施設自体はあったので、平成17年までさかのぼっての計算ではない。

▼公有水面埋立ての意見答申について

問 合田地区においては、冬場の風がたいへん強く、市民から、塩が舞い上がって困るといふ話を聞くが、今回の護岸はどれぐらいの高さになるのか。

また、消波ブロック等の付随した工事はあるのか。

答 今回設置する護岸は、既設の護岸より50cmから60cmほど高くなる。

また、消波ブロックについては、新しく護岸ができれば、今現在設置している消波ブロックを移設して、設置する。

▼(一般会計)公園設備修繕料について

問 今回スポーツパークの東屋が、基礎の鉄パイプの腐食により転倒したとのことであるが、これは何年に設置したものか。


また、東屋の基礎部分は何年になつて

いるのか。コンクリートは打っていないのか。

答 この東屋は、平成10年に設置したものである。この東屋には、80cm×80cmのコンクリートの基礎があり、その上に10cmの土を被せている。

なお、今回の補修において、今までどおりの補修をしても、同じようになるため、一度土を撤去し、コンクリートを継ぎ足して、座る面までコンクリートで立ち上げて、鉄パイプ全部を根巻きするように計画している。

行政視察報告

委員会	民生文教委員会	議会改革特別委員会
視察日	11月8日～10日	1月12日・13日
視察先	○岩手県釜石市 ・東日本大震災での対応について	○京都府宇治市 ・議会基本条例制定等について
視察風景	 釜石市役所会議室	 宇治市議会会議室

11月24日臨時会 審議結果

番号	件名	審議結果
報告第17号	専決処分報告について(八幡浜市役所保内庁舎駐車場内において発生した接触事故に係る相手方との和解及び損害賠償の額の決定について)	報告
第18号	専決処分報告について(八幡浜市双岩コミュニティ公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について)	原案承認
第19号	専決処分報告について(宮内地区公民館による草刈作業中に発生した自動車破損事故に係る相手方との和解及び損害賠償の額の決定について)	報告
議案第73号	八幡浜漁港高度衛生管理型荷捌所建築主体工事請負契約の締結について	原案可決
第74号	八幡浜漁港高度衛生管理型荷捌所機械設備工事請負契約の締結について	〃
第75号	市道松柏矢野町線事故の相手方との和解及び損害賠償の額の決定について	〃
第76号	八幡浜市長等の給料の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃

12月定例会 審議結果

番号	件名	審議結果
認定第1号	平成22年度八幡浜市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
第2号	平成22年度八幡浜市水道事業会計決算の認定について	〃
第3号	平成22年度市立八幡浜総合病院事業会計決算の認定について	〃
諮問第4号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて 候補者 水本正人氏(谷川忠孝氏後任)	異議のない旨答申
議案第79号	公有水面埋立ての意見答申について(大釜漁港)	原案可決
第80号	公有水面埋立ての意見答申について(舌田漁港)	〃
第81号	指定管理者の指定について(八幡浜市新町角駐車場)	〃
第82号	指定管理者の指定について(八幡浜市民スポーツセンター)	〃
第83号	指定管理者の指定について(八幡浜市養護老人ホームあけぼの荘)	〃

番号	件名	審議結果
第84号	「八幡浜市公共下水道八幡浜浄化センターの建設(汚泥再構築)工事委託に関する協定について」の議決変更について	原案可決
第85号	「八幡浜市公共下水道保内浄化センターの建設工事委託に関する協定について」の議決変更について	〃
第86号	「八幡浜市立白浜小学校屋内運動場地震改築建築主体工事請負契約の締結について」の議決変更について	〃
第87号	「八幡浜市立白浜小学校西校舎地震補強建築主体工事請負契約の締結について」の議決変更について	〃
第88号	八幡浜市暴力団排除条例の制定について	〃
第89号	八幡浜市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃
第90号	八幡浜市水産廃棄物処理施設設置条例を廃止する条例の制定について	〃
第91号	八幡浜市奨学資金貸付条例の制定について	〃
第92号	八幡浜市西村奨学資金貸付基金条例の一部を改正する条例の制定について	〃
第93号	八幡浜市奨学基金条例の一部を改正する条例の制定について	〃
第94号～第104号	平成23年度八幡浜市一般会計補正予算(第6号)外10会計補正予算	予算額 5億8,715万8千円
議案第105号	平成23年度八幡浜市水道事業会計補正予算(第1号)	予算額 678万7千円
第106号	平成23年度市立八幡浜総合病院事業会計補正予算(第2号)	歳出ベース 1億1,657万円
第107号	八幡浜市市税条例の一部を改正する条例の制定について	〃
第108号	平成23年度八幡浜市一般会計補正予算(第7号)	予算額 1,180万円
請願第13号	原発をなくし、再生可能な自然エネルギーへの転換を求める請願書	不採択

議会日誌(H23.9.22～H23.12.5)

◆委員会活動状況

- 10月4日 決算審査特別委員会開催
- 5日 決算審査特別委員会開催
- 6日 総務委員会行政視察(宮城県山元町・岩手県葛巻町)(～8日)
- 11日 産業建設委員会行政視察(宮城県登米市等)(～13日)
- 17日 民生文教委員会開催(病院事業決算審査)
- 27日 産業建設委員会開催(水道事業決算審査)
- 11月8日 民生文教委員会行政視察(岩手県釜石市)(～10日)
- 11日 議会改革特別委員会開催
- 17日 議会運営委員会開催
- 24日 市議会協議会開催
- 29日 議会運営委員会開催

◆庶務関係

- 9月29日 議長及び関係議員が愛媛県市議会観光振興議員連盟広域観光推進研修会に出席(西予市)
- 10月3日 正副議長が平成23年度愛媛県市議会議長会秋季定期総会に出席(松山市)
 - 6日 京都府福知山市議会議員一行が行政視察来庁
 - 7日 「第22回なくせじん肺全国キャラバン」来庁
 - 11日 正副議長が「第6回全国市議会議長会研究フォーラムin青森」に出席(青森市)(～13日)
 - 17日 「2011食料自給率向上・食と健康、環境を守る」全国一斉共同行動における要請隊一行来庁
 - 20日 正副議長が第34回四国西南地域市議会議長懇談会定期総会に出席(大洲市)
 - 20日 秋田県能代市議会議員一行が視察研修来庁
 - 24日 正副議長が全国自治体病院経営都市議会協議会地域医療政策セミナーに出席(東京都)(～25日)
 - 26日 京都府舞鶴市議会議員一行が視察研修来庁
 - 31日 「2011社会保障拡充県内キャラバン」来庁
- 11月4日 愛媛県地方労働組合連合会一行来庁
 - 14日 議長が全国過疎地域自立促進連盟定期総会に出席(東京都)(～15日)
 - 19日 議長が西予市新庁舎落成記念式典に出席(西予市)
 - 22日 議長が愛媛県後期高齢者医療広域連合議会定例会に出席(松山市)

議会を傍聴してみませんか

市議会では、毎年3月、6月、9月、12月の年4回の定例会と必要に応じて臨時会を開きます。

市議会の本会議は、事前の申し込みの必要はなく、傍聴することができます。

傍聴席は、八幡浜庁舎7階にあり、52席用意しています。

傍聴席入口に、受付簿を置いてありますので、氏名、住所を記入の上、傍聴してください。

会議の内容を知るには

本会議の内容をそのまま記録した文書として会議録があります。

会議録は、議会事務局、市民図書館、各地区公民館で、ご覧になることができます。また、市議会ホームページ上でもご覧になれます。

議会はTVで放送しているの?

定例会初日の提案理由の説明と一般質問は、八西CATVで放送しています。放送時間は、市議会のホームページに掲載していますのでご覧ください。

編集後記

「議会だより」第27号をお届けします。「議会だより」について、ご意見をお願いします。

八幡浜市議会事務局

TEL (代)22-3111 内線603

市議会の詳しい情報は、八幡浜市議会のホームページをご覧ください。 [八幡浜市議会](#) [検索](#)